

地歴公民科公開研究授業学習指導案

指導者 職・氏名 教諭 政谷 和俊

指導日時・教室 令和元年11月4日(月)5限目 教室名 2SA教室
 対象生徒・集団 2年機械システム科 2年(次)生 40人
 科目名 地理A(単位数2)
 使用教科書 新地理A(出版社名 帝国書院)
 1 単元名 1節 アングロアメリカの生活・文化
 2 本時(総時数6時間中 第6時)


(1) 本時のねらい

・資料をもとに、対話的活動を通じてアメリカの生活・文化の多様性について考えを広げ、深める。

【思考・判断・表現】

(2) 準備・資料等 ipad、プロジェクタ、スクリーン、ワークシート

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 5分	既習事項・本時のねらいの確認	・ペアになって、アメリカについて学習したことを出し合う。	・90秒に設定し競争させることで多くの意見を出させる。 ・本時のねらいを伝える。	
【県工 Thinking Time】 ①この写真をみて「気づいたこと」「考えたこと」「疑問に思った事」なんでも発言してみよう。				
展開 ① 15分	写真資料の読み取り	・写真資料を見て、気づいたこと、考えたこと、疑問に思ったことを発言する。	・キーワードとなりそうな発言に対して、「どこからそう思う？」という問いかけにより、発言内容を深めさせる。 ・発言の少ない生徒には指名し発言させる。 ・発言した内容は板書する。	
【県工 Thinking Time】 ②グループで解釈の根拠や、事実の真偽について協議して、考えを広げてみよう。				
展開 ② 20分	資料の考察・協議	・グループになり解釈の根拠や事実の真偽について話し合う。 ・話し合った内容を簡潔にまとめ1グループ1分で発表し情報共有をする。	・資料を新たに配り、なぜそう考えたのかや、新たな気づきはないかをグループ内で協議させる。 ・話し合いが滞っているグループには板書されている内容をヒントにし進めるように促す。	・資料をもとに対話的活動を通じてアメリカの生活・文化の多様性についての考えを広げ・深めている。 【思考・判断・表現】 (観察・振り返りシート)
まとめ 10分	振り返りシート記入 情報共有	・振り返りシートを記入し、グループ内で発表する。 ・数名の生徒は全体に向けても発表をする。	・グループ内発表の時間は3分とし、良かった点を1つ伝えるよう指示をする。	